鳥栖市地震防災マップ

地震はいつどこで発生するかわかりません。ひとたび大規模な地震が発生すると、建物の倒壊や道路、電気、ガス、水道などのライフラインの寸断、火災の発生など甚大な被害をもたらします。

阪神・淡路大震災では、建物倒壊や火災などで多くの人々が犠牲となりました。また、福岡県西方沖地震でも、建物倒壊などの被害をもたらしました。鳥栖市でも震度５弱を観測し、地震は、いつでもどこでも起きるものであることを再認識しました。

この地震防災マップは、将来地震発生の可能性がある警固断層を震源とする地震を想定して、地震発生時の揺れや避難場所・自主避難場所などを地図上に示すとともに、地震への備えや地震発生時の対応などを記載して、地震に対する日頃からの備えに役立てていただくために作成しました。

平成20年3月
（令和5年4月一部改正）

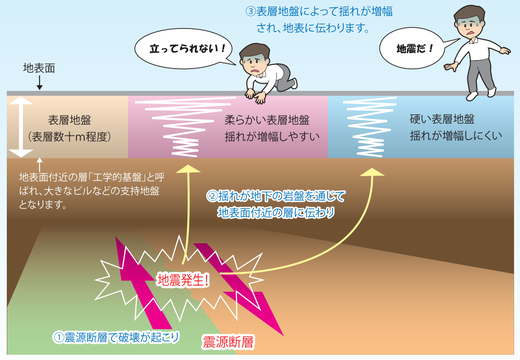
鳥 栖 市

揺れやすさマップとは?

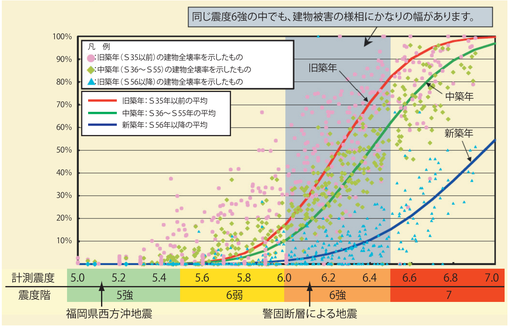
「揺れやすさマップ」とは、地盤の状況とそこで起こりうる地震の両面から、地域の揺れやすさを震度として表したものです。

地震による揺れの大きさは、その土地の表層地盤の特性と、震源断層規模と距離によって大きく変化します。そのため、表層地盤の揺れやすさを評価する際に、地盤を知ることはとても重要となります。

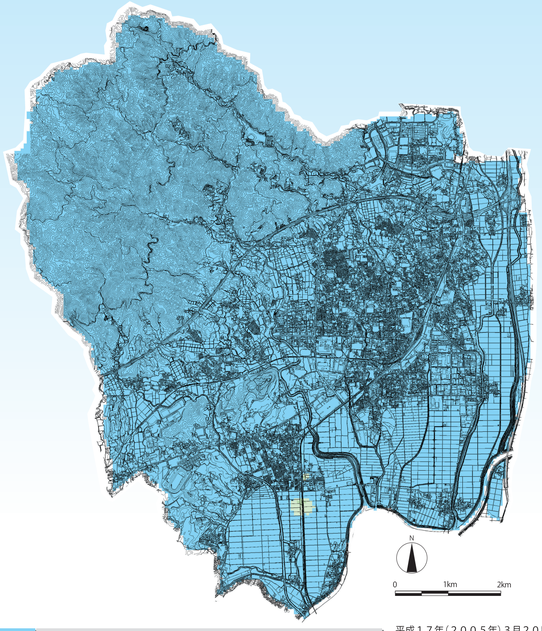
今回、鳥栖市では揺れやすさマップを作成するにあたり、市内全域を約50m四方の区画（メッシュ）に分割して地形（山地、台地、谷、埋立地など）の判定を行い、市内周辺も含めて約1,000本のボーリング調査資料を収集して地盤の揺れやすさを評価しました。



■揺れの大きさと全壊被害の関係（木造建物）



福岡県西方沖地震による揺れ方



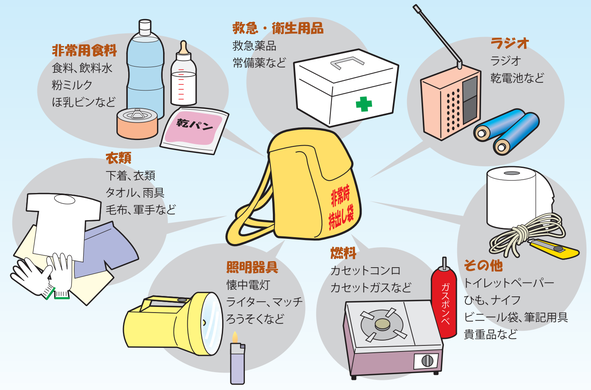
震度０	人は揺れを感じない。
震度１	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。
震度２	屋内にいる人の多くが揺れを感じ、吊り下がりの電灯が揺れる。
震度３	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じ、棚の食器が音を立てることがある。
震度４	眠っている人のほとんどが目を覚ます。部屋の不安定な置物が倒れる。歩行中の人も揺れを感じる。
震度５弱	家具が移動し、食器や本が棚から落ちる。窓ガラスが割れることがある。
震度５強	タンスなど重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある。自動車の運転が困難になる。
震度６弱	立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。
震度６強	立っていられず、はわないと動くことができない。重い家具のほとんどが倒れ、戸がはずれて飛ぶ。耐久性の低い建物は倒壊する。
震度７	自分の意志で行動できない。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。ほとんどの建物が傾いたり、倒壊する。

平成１７年（２００５年）３月２０日に発生した福岡県西方沖の地震（Ｍ７．０）における観測記録から震源断層を設定し、地震動予測における最新の知見と本調査で作成した地盤モデルにより再現計算を行いました。鳥栖市役所に設置している地震計は震度5弱を観測しました。

※警固断層の活動による地震の揺れやすさについては、裏面に記載してあります。

非常持ち出し品をチェックしましょう!

わかっていても、なかなかそろっていないのが非常持ち出し品のセットです。これらがあるのとないのとでは避難後の生活に大きな差があります。背中に背負えるリュックなどにまとめておき、取り出しやすい所に準備しておきましょう。定期的な中身の点検も必要です。



安全に避難するために

住み慣れた家でも、いざ避難しようとするとあわててしまいがちです。いざというときあわてないためにも、避難の方法を考えておきましょう。

●正しい情報を得る
間違った情報でパニックにならないようにしましょう。ラジオや防災機関が発信する情報で的確に行動しましょう。

●避難は徒歩で
車を使わずに徒歩で避難しましょう。お年寄りやけが人などを優先し、子供は手を握って避難してください。荷物は最小限に。

●あわてて飛び出さない
家の中にいたほうが安全な場合もあります。あわてず状況を見て、外に逃げるときはガラスや瓦などの落下物に注意してください。

●応急救護は協力しあって
死傷者が増えると、医療機関がパンク状態になります。お互いに協力し合って、応急救護活動を行いましょう。

「地震発生!あなたはどう対応しますか？」にご紹介した注意事項にも、避難時に必要な内容があります。確認しておいてください。

●台所では…　●個室にいたら…　●外を歩いているときは…　●崖のそばにいるときは…
●地下街にいるときは…　●川沿いの低地や埋立地にいるときは…

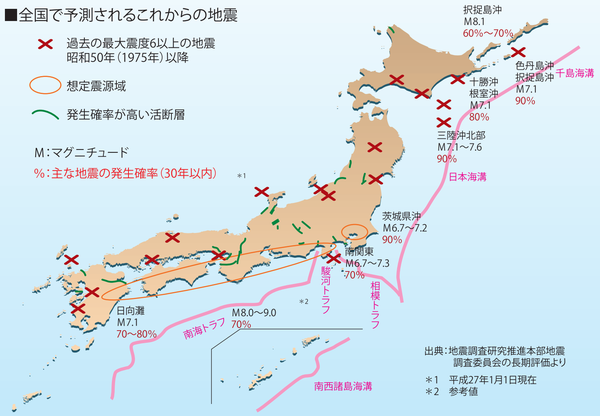
過去の地震とこれからの地震

■平成以降に大きな被害を出した地震

出典：気象庁、総務省消防庁データより

発生年月	名称	マグニチュード	震度	被害			
H５年　1月	釧路沖地震	7.5	6	死者	2	全壊	53
H５年　7月	北海道南西沖地震	7.8	5	死者	202	全壊	601
H６年10月	北海道東方沖地震	8.2	6	死者	0	全壊	61
H６年12月	三陸はるか沖地震	7.6	6	死者	3	全壊	72
H７年　1月	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）	7.3	7	死者	6,434	全壊	104,906
H12年10月	鳥取県西部地震	7.3	6強	死者	0	全壊	435
H13年　3月	芸予地震	6.7	6弱	死者	2	全壊	70
H15年　7月	宮城県北部地震	6.4	6強	死者	0	全壊	1,276
H15年　9月	十勝沖地震	8.0	6弱	死者	1	全壊	116
H16年10月	新潟県中越地震	6.8	7	死者	68	全壊	3,175
H17年　3月	福岡県西方沖地震	7.0	6弱	死者	1	全壊	133
H19年　3月	能登半島地震	6.9	6強	死者	1	全壊	684
H19年　7月	新潟県中越沖地震	6.8	6強	死者	15	全壊	1,319
H20年　6月	岩手・宮城内陸地震	7.2	6強	死者	17	全壊	30
H23年　3月	東北地方太平洋沖地震	9.0	7	死者	19,225	全壊	127,830
H28年　4月	熊本地震	6.5	7	死者	273	全壊	8,667
H28年　4月	熊本地震	7.3	7				
H30年　9月	北海道胆振東部地震	6.7	7	死者	42	全壊	462

■全国で予測されるこれからの地震



出典：地震調査研究推進本部地震調査委員会の長期評価より
＊1　平成27年1月1日現在
＊2　参考値

鳥栖市近くの断層

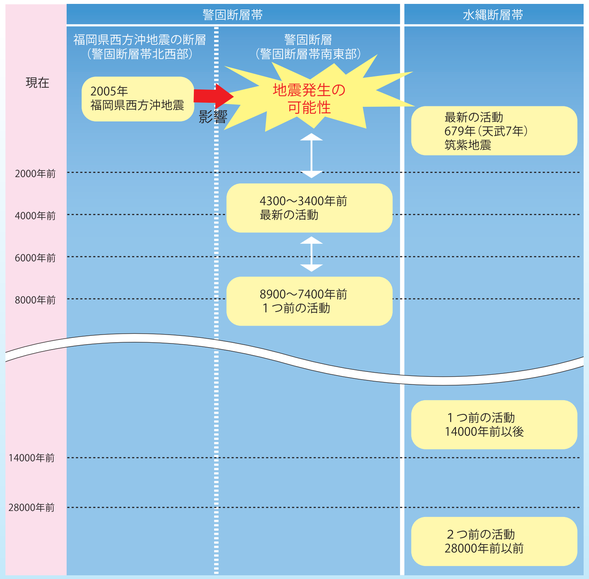
■警固断層と水縄断層

【警固断層】

博多湾から筑紫野市にわたる全長約２７㎞の活断層であり、2005年に活動した福岡県西方沖の断層は警固断層と一連の警固断層帯であると考えられています。今後30年の間に0.3%～6.0%の確率で地震が発生する可能性があるとされており、全体が動いた場合マグニチュード7.2程度の規模が予想されます。

【水縄断層】

福岡県うきは市浮羽町から同吉井町、久留米市田主丸町を経て久留米市市街地に至る全長約２６㎞の断層帯です。水縄断層帯の平均的な活動間隔は1万4千年程度と言われており、６７９年(天武７年)の筑紫地震を引き起こした可能性があることから、今後30年間の発生確率はほぼ0%と言われています。



地震発生!あなたはどう対応しますか?

●居間や食堂では…
家具やテレビなどが倒れてきたり、飛んだりします。
・身を守り、身を隠す。

●台所では…
火事になることがあります。
・可能なら火を消す。
・ガスの元栓を締める。

●寝室で眠っていたら…
暗闇の中、家具などが倒れてきます。
・身を守る。
・ガラス破片など、足元に注意する。

●個室にいたら…
ドアが開かなくなることがあります。
・ドアや窓を破って脱出口を確保する。
・外に出るときは落下物に注意する。

●外を歩いているときは…
古い建物やブロック塀、自動販売機などが倒れ、看板やガラス、瓦などが落下してくることがあります。
・身を守り、建物などからすぐに離れる。

●崖のそばにいるときは…
急傾斜地や丘陵の宅地造成地で崖崩れのおそれがあります。
・すぐに崖から離れる。

●学校や勤め先にいるときは…
机や書棚などが動き、倒れ、物が散乱します。高層ビルでは、ゆっくりとした大きな揺れが長く続くことがあります。
・身を守り、身を隠す。
・学校では避難、勤め先では役割分担に従って行動する。

●デパートや映画館にいたら…
商品などの転倒や移動、天井材や照明の落下が起きる可能性があります。
・商品棚などから離れ、頭をかばい、身を隠す。
・係員の指示に従い、落ち着いて行動する。

●電車やバスに乗っているときは…
急ブレーキや脱線の可能性があります。
・吊り革や手すりにしっかりつかまる。
・乗務員等の指示に従う。

●自動車を運転しているときは…
パンクしたような感じになり、ハンドルをとられて運転が困難になります。
・車を左側に寄せてエンジンを停止する。
・ラジオなどで災害情報を確認する。
・ドアはロックせず、キーはつけたままで避難する。

●地下街にいるときは…
地表に比べて揺れは小さいですが、一時停電したり天井材などが落ちてくることがあります。
・案内指示、従業員指示に従い避難する。
・パニックにならず落ち着いて行動する。

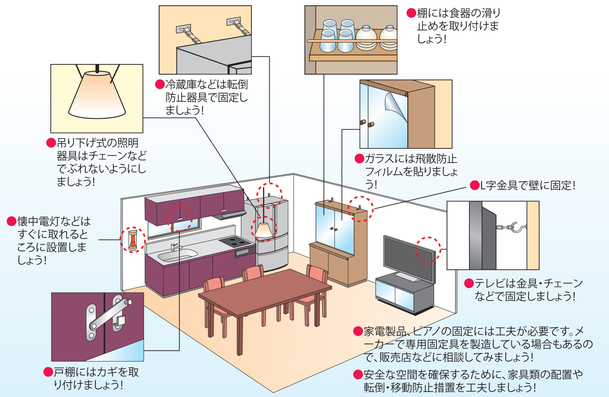
●川沿いの低地や埋立地にいるときは…
地盤の液状化現象や浸水などが起こる可能性があります。
・低地や埋立地の外の高台に避難する。

日頃の備えを心がけましょう!

実際に災害が発生したとき、家の中で、または外出先で、家族がそれぞれどのような行動をとるべきか、『家族の安全は家族全員で守る』ために年に一度は家庭での防災対策を話し合い、次のことを確認しましょう。

●家族の役割分担の確認
●非常持ち出し品の準備と置き場所
●地区で行われる防災訓練への参加
●緊急避難場所と避難路の確認
●家具の転倒防止など家の中の安全確保
●緊急時にはどうやって連絡をとりあうか

家具が凶器にならないようにしましょう!



災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルは、地震などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言板です。

171 へダイヤルする

録音または再生を選ぶ。
録音される方は「１」、再生される方は「２」、暗証番号を利用する録音は「３」、暗証番号を利用する再生は「４」をダイヤルする。

電話番号を入力する。
録音する方は自宅の電話番号、再生する方は連絡を取りたい方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい。

メッセージの録音メッセージの再生
ガイダンスに従ってください。